

○地方創生推進交付金対象事業の取組状況（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

①梨で「儲かる」「人が集う」地域産業活性化プラン

事業概要	農研機構ナシ育種研究拠点と連携した新品種開発や品質・生産量向上のための試験研究、新甘泉など新品種の生産拡大支援、国内外への販路拡大等により、本県の特産品である梨の振興を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる（2）農林水産業	初回採択年	2016年

No	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2016 年度	35,311,172	指標① 果樹新品種(梨)の作付面積 ◇2015年度:17,000a	2000	a 増加	1300	a 増加	「新甘泉」の人気の高い一方で、その他の品種が伸びなかったため。	①発展継続	・梨新品種の生産・販売量は順調に伸びており、既存生産者の面先拡大や新規就農者の参入に好条件となっていることから、さらなる植栽の推進と新規就農者等の新たな担い手の確保に取り組む。
		指標② 果樹新品種(梨)の販売額 ◇2015年度:291百万円	79	百万円 増加	100	百万円 増加	順調に生産量が伸びたことに加え、販売単価も高値安定したため。		
		指標③ 梨に係る新規参入者の人数 (梨のスーパー園芸団地に係るもの) ◇2015年度:0人	2	人 増加	2	人 増加	-		
2017 年度	14,493,133	指標① 果樹新品種(梨)の作付面積 ◇2015年度:17,000a	3000	a 増加	2400	a 増加	市場評価が高い「新甘泉」の面積は順調に伸びたが、その他の新品種については、作付けが伸びなかったため。	①拡充・強化	新品種の生産量が順調に伸びていることに加え、市場からの引きあいも強く高単価を維持。スーパー園芸団地の整備やジョイント栽培の導入を進め、新規就農者にとって参入しやすい条件の整備を図る。
		指標② 果樹新品種(梨)の販売額 ◇2015年度:291百万円	169	百万円 増加	226	百万円 増加	生産量が拡大するとともに、「なつひめ」「新甘泉」が過去最高の単価を記録したため。		
		指標③ 梨に係る新規参入者の人数 (梨のスーパー園芸団地に係るもの) ◇2015年度:0人	8	人 増加	3	人 増加	スーパー園芸団地の造成実績が1団地にとどまった上、新規就農者のマッチングに時間を要したため。		
2018 年度	16,031,459	指標① 果樹新品種(梨)の作付面積 ◇2015年度:17,000a	4500	a 増加	3300	a 増加	ここまで順調に伸びていた「新甘泉」だが、面積拡大がやや緩慢になったため。	①拡充・強化	・新甘泉は市場から「もっと欲しい」と要望があるほど人気が高く、栽培面積増加に貢献している。ただ、「新甘泉」は1戸の農家が栽培できる面積には限界があるため、さらなる面積拡大には新たな栽培者が必要である。新規就農者等が参入しやすいスーパー園芸団地のPRやジョイント栽培の魅力を発信していく。
		指標② 果樹新品種(梨)の販売額 ◇2015年度:291百万円	269	百万円 増加	346	百万円 増加	作付面積増加とともに樹冠拡大による生産量の増加と「新甘泉」を中心に高単価で安定しているため。		
		指標③ 梨に係る新規参入者の人数 (梨のスーパー園芸団地に係るもの) ◇2015年度:0人	14	人 増加	3	人 増加	団地化に向けた検討は各地で行われていたが、H30年については、事業実施がなかったため。		

②高度人材育成開発拠点の形成を契機とした産業構造の転換促進(とっとりRe-Growthプラン)

事業概要	職業能力開発総合大学校の一部機能移転と連携した高度技能・技術人材育成プログラムの開発、県外からの高度技術人材の獲得促進、医工連携や企業の海外展開支援により産業構造の転換を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ(2) 働く場	初回採択年	2016年

No	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った(または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2016年度	18,899,554	指標① 県内製造品出荷額 ◇2015年度:6,804億円	200	億円 増加	239	億円 増加	県内企業の生産指数がH25年度を底に回復基調にあること及び、企業の新增設が好調であったため。	①発展継続	<ul style="list-style-type: none"> 自動車等の成長分野の企業集積、アジア地域の需要獲得、県内企業による技術力・生産性の向上等に向けた取組の実施。 先端ICT・ロボット推進コンソーシアムを設立による県内産業高度化、アイデア創出から外部専門家の派遣等による事業化支援までの一貫した新事業創出支援。 海外需要獲得に向けた外部専門家によるハンズオン支援の強化等
		指標② 正規雇用創出数(商工分野) ◇2015年度:1,345人	1430	人 増加	1696	人 増加	企業の新增設に伴う雇用開始等による増加があったため。		
		指標③ IJUターンの受入者数 ◇2014年度:1,246人	1200	人 増加	2022	人 増加	これまでの取組成果により、移住希望者が増加したため。		
2017年度	44,102,241	指標① 県内製造品出荷額 ◇2015年度:6,804億円	450	億円 増加	787	億円 増加	県内企業の生産指数がH25年度を底に回復基調にあること及び、企業の新增設が好調であったため。	①拡充・強化	H30年度の職業能力開発総合大学校の調査・研究機能の一部移転を契機に、高度技能・技術の訓練・開発拠点の形成を目指し、県内企業の成長分野へのチャレンジを支援する。
		指標② 正規雇用創出数(商工分野) ◇2015年度:1,345人	2860	人 増加	3117	人 増加	県の各種施策活用により、非正規職員から正規職員への転換や起業・創業、成長3分野(医療機器、自動車、航空機)等への事業展開が進み、正規職員の採用による人材確保が図られたため。		
		指標③ IJUターンの受入者数 ◇2014年度:1,246人	2400	人 増加	4149	人 増加	移住者目線にたった相談支援体制の拡充や、県民挙げての移住者支援等、これまでの取組成果が発現したため。		
2018年度	42,425,217	指標① 県内製造品出荷額 ◇2015年度:6,804億円	800	億円 増加	2022	億円 増加	県内企業の生産指数がH25年度を底に回復基調にあること及び、企業の新增設が好調であったため。	①拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> 海外需要獲得や生産性向上により製造品出荷額を増加させ、正規雇用の創出に繋げていくため、成長3分野を中心に製造業及びICT産業において活躍できる人材育成・確保に取り組む。 企業の在職者を対象に、企業ニーズを踏まえた階層別(新人、管理職等)や技能技術系の各種講座を開催する。 企業現場での課題解決を通じた人材育成を行うために専門家を企業に派遣する。 求職者を対象に、ICT技術者として必要な基礎知識から専門的スキルまでを学ぶ講座を開催する。
		指標② 正規雇用創出数(商工分野) ◇2015年度:1,345人	4355	人 増加	5505	人 増加	平成30年の年間有効求人倍率が1.64倍という高い水準となる中、従業員確保・定着のため非正規雇用から正規雇用に転換する企業の増加などにより、正規雇用者数が増加した。		
		指標③ IJUターンの受入者数 ◇2014年度:1,246人	3600	人 増加	6306	人 増加	移住者目線にたった相談支援体制の拡充や、県民挙げての移住者支援等、これまでの取組成果が発現したため。		

③鳥取県の人口減少に歯止めをかける!転出超過解消大作戦!

事業概要	移住相談体制の充実や県民総参加による情報発信の強化、地域における移住者受入組織等のネットワークづくり等によるIJU促進のほか、インターンシップ、企業紹介フェアの開催などによる若者の県内就職の促進を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (1) 移住・定住	初回採択年	2016年

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った(または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)		
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容	
2016年度	18,683,287	指標①	IJUターンの受入者数 ◇2014年度:1,246人	1,200	人	2,022	人	①発展継続	<ul style="list-style-type: none"> ・県内就職の魅力伝えるため、若者への情報発信を強化するとともに、とっとり就活サポーター等を活用し、県内大学の県外出身学生へのアプローチを進める。 	
		指標②	県外大学進学者の県内就職率 (県出身者の多い大学) ◇2014年度:29.5%	2.1	% 増加	3.3	% 増加			平成27年度から新たに奨学金返還支援制度を設ける等、IJUターン就職に向けた取組を充実させたため。
		指標③	県内大学生の県内就職率 ◇2014年度:34.2%	2.02	% 増加	-4.4	% 増加			全国的な有効求人倍率上昇に伴い、学生の大手志向が強まった。県内大学は、県内出身者の割合が低く、特に県外出身者へ県内企業の情報や魅力が十分に伝わっていないため。
2017年度	82,238,151	指標①	IJUターンの受入者数 ◇2014年度:1,246人	2,400	人	4,149	人	①拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の県内定住を促進するため、新たに学生による学生に向けた情報発信への取組を実施するとともに、「関係人口」の創出に向けて、とっとり暮らしを体験する取組や地域課題を解決する人材、若手社会人の呼び込みに取り組む。 ・また、従来の無償型インターンシップに加え、H30年度から長期有償型インターンシップを導入する。 	
		指標②	県外大学進学者の県内就職率 (県出身者の多い大学) ◇2014年度:29.5%	4.2	% 増加	1.4	% 増加			全国的な有効求人倍率上昇に伴い、学生の大手志向が強まってきたため。
		指標③	県内大学生の県内就職率 ◇2014年度:34.2%	4.04	% 増加	-5.1	% 増加			全国的な有効求人倍率上昇に伴い、学生の大手志向が強まった。県内大学は、県内出身者の割合が低く、特に県外出身者へ県内企業の情報や魅力が十分に伝わっていないため。
2018年度	62,650,015	指標①	IJUターンの受入者数 ◇2014年度:1,246人	3,600	人	6,306	人	①拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談窓口の充実や、市町村や地域住民・地域団体と連携したきめ細かい受け入れ体制を継続するとともに、本県からの若者の流出抑制に向けた若者向けIJUターンの促進、都市部における婚活イベントとの連携等、新たな潜在層の取り込みを行う。 ・また、「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議若手ワーキンググループを核とした県民運動の推進に取り組む。 ・「学生等県内就職強化本部」を設置し、若者の県内定着、就職について情報共有を図るとともに、相互連携、協力等により実効性のある取組を推進する。 ・学生への情報発信を強化するため、アプリを構築する。 ・県内企業の採用活動への支援や企業の魅力・採用力の向上を図る。 ・とっとりワーホリの対象を県内学生まで拡充するとともに、大学生等が県内で活躍する社会人となつたり、本県の暮らしと仕事の魅力を知る活動を支援する制度を新たに設け、県内定着を推進する。 	
		指標②	県外大学進学者の県内就職率 (県出身者の多い大学) ◇2014年度:29.5%	6.3	% 増加	0.8	% 増加			全国的な有効求人倍率上昇に伴い、学生の大手志向が強まってきたため。
		指標③	県内大学生の県内就職率 ◇2014年度:34.2%	6.06	% 増加	0.9	% 増加			全国的な有効求人倍率上昇に伴い、学生の大手志向が強まった。県内大学は、県内出身者の割合が低く、特に県外出身者へ県内企業の情報や魅力が十分に伝わっていないため。

④～「新たな空のステージ」への挑戦～「空の駅」推進事業

事業概要	まんがキャラクターを配した空港装飾化等による魅力向上とイベント開催による交流・賑わいの創出、空港へのトライアル出店支援や2次交通整備による利便性の向上を図るとともに、空港周辺地域の観光・物産施設との連携等による地域活性化を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (1) 観光・交流	初回採択年	2016年

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2016年度	18,220,113	指標① 空港利用客数 (鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港) ◇2015年度:1,014,443人	25,557	人 増加	27,127	人 増加	国内便・国際線ともに航空利用者数が順調に推移したため。	①発展継続	・鳥取空港ビルの一体化工事や空港と鳥取港の連絡道路の整備、一体化後の賑わい創出など取組の強化。
		指標② 1人あたり観光消費額 ◇2012年～2014年平均:27,250円	250	円 増加	1,282	円 増加	まんがキャラクターを配した空港とまんがゆかりの地を巡る観光客が増加するなど、滞在時間が増えており、これに伴い観光消費額も増加している。		
		指標③ 外国人宿泊客数 ◇2015年度:10.3万人	11,636	人 増加	-3,110	人 増加	鳥取県中部地震等による影響を受けたため。		
2017年度	26,980,897	指標① 空港利用客数 (鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港) ◇2015年度:1,014,443人	55,557	人 増加	78,194	人 増加	鳥取空港・米子空港とともに国内便・国際線の搭乗者数が過去最高を記録するとともに、鳥取空港と鳥取港を結ぶ県道の開通記念イベント等により、国際会館の利用者も増加しているため。	①拡充・強化	・鳥取空港一体化やコンセッション方式の導入を契機に、ツインポートとしての更なる賑わい創出を進め、空港利用者を増やしていく必要がある。 ・外国人宿泊客数の増加に向けては、地域観光の魅力の掘り起しやSNSを活用した情報発信(データ分析に基づいた効果的な広告展開)、観光案内機能の充実・強化等を図る。
		指標② 1人あたり観光消費額 ◇2012年～2014年平均:27,250円	500	円 増加	1,164	円 増加	まんがキャラクターを配した空港とまんがゆかりの地を巡る観光客が増加するなど、滞在時間が増えており、これに伴い観光消費額も増加している。		
		指標③ 外国人宿泊客数 ◇2015年度:10.3万人	23,272	人 増加	37,100	人 増加	好調な国際定期航空便に加え、務安(韓国)・台北とのチャーター、エアソウルの臨時季節便、ベトナム・ハノイとの相互チャーター等を実施したため。		
2018年度	31,827,333	指標① 空港利用客数 (鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港) ◇2015年度:1,014,443人	85,557	人 増加	469,857	人 増加	国内便・国際線の搭乗者数が順調に増加するとともに、鳥取砂丘コナン空港のグランドオープンにより、空港来場者数が大幅に増加した。	①拡充・強化	・鳥取空港の来場者数の増加を継続させるためには、ツインポート間(空港とマリンピア賀露)の連携、周遊を促すための交通手段の確保、来訪者受け入れのための環境整備など、圏域全体の賑わいにつなげる取組の強化が必要である。 ・外国人宿泊客数の増加に向けては、地域観光の魅力の掘り起しやSNSを活用した情報発信(データ分析に基づいた効果的な広告展開)、観光案内機能の充実・強化等を図る。
		指標② 1人あたり観光消費額 ◇2012年～2014年平均:27,250円	750	円 増加	1,266	円 増加	県内2空港の空の駅化により、搭乗者以外の空港利用者が増えており、まんがをテーマとした周遊が増えているため。		
		指標③ 外国人宿泊客数 ◇2015年度:10.3万人	34,908	人 増加	91,300	人 増加	国際定期航空便の外国人利用者が増加したことによるもの。		

⑤とっとりフードバレー(豊かな食と技術の集積地)形成プロジェクト

事業概要	ゲノム育種価等を活用した和牛改良や生乳増産技術の確立、マサバ陸上養殖技術の向上や種苗生産拡大を図るとともに、販路拡大のための地域商社活動支援やHACCP等の食品衛生認証の取得支援、農商工連携・6次産業化の取組支援による農林水産業の活性化を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	初回採択年	2016年

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った(または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2016年度	54,257,665	指標① 農林水産物及び加工品の年間輸出額 ◇2015年度:3.8億円	1	億円増加	2	億円増加	県内事業者の輸出への取組み成果が表れたため	③単純継続	<ul style="list-style-type: none"> ・販路や生産規模の拡大等に関する継続的な支援の実施。 ・栽培漁業センターの試験研究の実施による養殖技術の向上。
		指標② 農林水産業新規就業者数 ◇2015年度:330人	300	人増加	365	人増加	水産業の新規就業者数が順調に推移したため。		
		指標③ 養殖サバ水揚げ量 ◇2015年度:1.5万尾	9	万尾増加	4	万尾増加	夏期高水温における疾病や成長不良が発生したため。		
2017年度	130,501,632	指標① 農林水産物及び加工品の年間輸出額 ◇2015年度:3.8億円	2	億円増加	7	億円増加	県内事業者の輸出への取組み成果が表れたため(特に境港の水産業者による冷凍魚の輸出が増加)	③取組内容の見直し(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・日EUEPAやTPPの動向を踏まえ、現地商談会への出展や県産食材を使ったレストランフェア等の開催を通じ、日本食材需要の取り込みを図る。 ・また養殖漁業については、本年度の経験を元に養殖手法の改善を指導するとともに、巡回指導等を行い、養殖場での飼育状況の把握と魚病対策等を行う。
		指標② 農林水産業新規就業者数 ◇2015年度:330人	700	人増加	728	人増加	就業者のニーズに即した研修の充実強化や専門高校との連携した取組により、新規就業者確保に努めたため。		
		指標③ 養殖サバ水揚げ量 ◇2015年度:1.5万尾	13	万尾増加	1	万尾増加	種苗出荷は想定どおりであったが、養殖場での病気の発生や例年に無い冬季の低水温等の問題で斃死が多く、また成長も悪かったため。		
2018年度	110,589,131	指標① 農林水産物及び加工品の年間輸出額 ◇2015年度:3.8億円	3	億円増加	9	億円増加	県内事業者の輸出への取組み成果が表れたため	③取組内容の見直し(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き関係機関との連携並びに事業者への情報共有、補助事業の活用等の推進等により、輸出額を増加させていく。 ・また、就業者のニーズに即した研修の充実強化や専門高校との連携した取組による新規就業者確保についても引き続き努めていく。 ・養殖サバについては、他の事業者の参入等による養殖生産量の増加を図る。
		指標② 農林水産業新規就業者数 ◇2015年度:330人	1,100	人増加	1,130	人増加	・景気回復に伴い農林水産業を含めた他産業の求人率の向上の影響はあるが、新規就業者への研修等の支援対策の拡充等により、新規就業者の確保に努めている。		
		指標③ 養殖サバ水揚げ量 ◇2015年度:1.5万尾	13	万尾増加	3	万尾増加	種苗出荷は想定どおりであったが、猛暑による高水温により、疾病が発生したため		

⑥「木づかいの国とっとり」推進プロジェクト

事業概要	高性能林業機械の導入や路網整備等の林業の低コスト化、試験研究による林産材の高付加価値化を図るとともに、オーストリア技術の導入等による労働安全衛生の向上や新規就業促進、教育旅行誘致やとっとりジビエのブランド化など総合的な森林の活用促進を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業 (3) エコスタイル	初回採択年	2016年

年度	交付金額 単位:円	指標		目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
				指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2016年度	113,260,276	指標①	林業新規就業者数 ◇2015年度:97人	118	人	74	人	景気回復の影響等により、新規就業者数が目標を下回ったため。	①発展継続	<ul style="list-style-type: none"> ・全国に先駆けて、伐倒等を徹底して反復訓練・教育できる「とっとり林業技術訓練センター(愛称:Gut Holz)」を整備。 ・当該施設も活用し、OJT研修を実施する側の指導者育成や伐倒技術等の基礎的技術の習熟を推進。
		指標②	若手狩猟者免許保有者数 ◇2014年度:155人	29	人 増加	122	人 増加	猟友会に積極的に協力いただいたほか、ハンター養成スクールが新規開校したため。		
		指標③	IJUターンの受入者数 ◇2014年度;1,246人	1,200	人	2,022	人	これまでの取組成果により、移住希望者が増加したため。		
2017年度	92,859,041	指標①	林業新規就業者数 ◇2015年度:97人	233	人	169	人	業界の景気動向等により、林業における新規就業者の確保ができなかったため。	①拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月に開所した「とっとり林業技術訓練センター(愛称:Gut Holz)」での研修等安全対策の強化により、林業労働災害は着実に減少しており、今後も継続して伐倒技術の習熟等を支援することで、若者が安心して働くことのできる職場環境を実現する。 ・ハンター養成スクールや若手ハンターの駆け込みコーチング事業を継続し、若手狩猟者の育成を図るとともに、ジビエ振興の取組についても充実・強化を図っていく。
		指標②	若手狩猟者免許保有者数 ◇2014年度:155人	58	人 増加	183	人 増加	ハンター養成スクールの開校や若手ハンターへのコーチングなど、猟友会の協力も得ながら効果的に施策を進めることができたため。		
		指標③	IJUターンの受入者数 ◇2014年度;1,246人	2,400	人	4,149	人	移住者目線にたった相談支援体制の拡充や、県民挙げての移住者支援等、これまでの取組成果が発現したため。		
2018年度	84,766,173	指標①	林業新規就業者数 ◇2015年度:97人	348	人	260	人	売り手市場の国内の景気動向等により、林業における新規就業が進まなかったため。	①拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・にちなん中国山地林業アカデミーのPR、日本伐木チャンピオンシップin鳥取の開催、鳥取県版緑の雇用支援事業の見直し、林業関係の高校や教育委員会との連携等を通じて、林業への新規就業の促進を図る。 ・平成29年3月に開所した「とっとり林業技術訓練センター(愛称:Gut Holz)」での訓練や林業先進国のオーストリアから招いた講師による研修などによる安全対策の強化、林業現場の働い方改革の推進を通じて、若者が安心して働くことのできる職場環境を実現する。 ※KPI①関連事業について、令和元年度から交付金充当事業は無い。県費で継続。
		指標②	若手狩猟者免許保有者数 ◇2014年度:155人	87	人 増加	175	人 増加	ハンター養成スクールの継続や若手ハンターへのコーチングなど支援策を、猟友会の協力も得ながら効果的に進めてきたため。		
		指標③	IJUターンの受入者数 ◇2014年度;1,246人	3,600	人	6,306	人	移住者目線にたった相談支援体制の拡充や、県民挙げての移住者支援等、これまでの取組成果が発現したため。		

⑦名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト

事業概要	大山開山1300年に合わせた観光客の受入環境整備や広域的な誘客キャンペーンを実施するとともに、食のブランド化を図る等、大山ブランドを活かした持続可能な地域づくりを実践する。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (1) 観光・交流 (3) エコスタイル	初回採択年	2016年

年度	交付金額 単位:円	指標		目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った(または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
				指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2016年度	23,917,015	指標①	鳥取県西部圏域の観光入込客数 ◇2015年度:4,696,000人	85,000	人増加	-229,000	人増加	鳥取県中部地震等による影響を受けたため。	①発展継続	大山開山1300年祭の本格展開に向け、前年のうちから平成30年度を見据えた事業展開(プレ・イヤーイベント実施、地域観光資源の磨き上げ、認知度向上等)に取り組む必要がある。また、民間の力を活用した、継続的で広がりのある取組とするため、さらなる機運醸成にも取り組んでいく必要がある。
		指標②	鳥取県西部圏域の外国人宿泊者数 ◇2015年度:40,363人	4,637	人増加	11,287	人増加	鳥取県中部地震による悪影響があったが、香港の定期便就航、国全体の訪日プロモーション、訪日ビザ緩和などにより外国人観光客が増加したため。		
2017年度	71,479,926	指標①	観光入込客数 ◇2015年:10,440,000人	280,000	人増加	-897,000	人増加	豪雪等による冬季の自家用車利用の敬遠、バス料金高等に伴うバスツアー商品造成の敬遠などの外的要因があったため。	①拡充・強化	平成30年度は伯耆国「大山開山1300年祭」の本格的実施の年であり、同祭を通じて、全国への「大山」の情報発信、大山ブランドの魅力向上、新たな観光資源の創造や現在の観光資源・イベントの磨き上げを図り、より稼げる取組へ進化させていく。
		指標②	外国人宿泊者数 ◇2015年:103,430人	23,272	人増加	37,100	人増加	好調な国際定期航空便に加え、務安(韓国)・台北とのチャーター、エアソウルの臨時季節便、ベトナム・ハノイとの相互チャーター等を実施したため。		
2018年度	78,326,281	指標①	観光入込客数 ◇2015年:10,440,000人	420,000	人増加	-794,000	人増加	イベント開催により約25万人を集客するなど観光誘客に成果を上げたものの、本県と山陽・近畿地方を結ぶ主要鉄道路線が西日本豪雨により1月にわたり不通になるなどの悪影響が生じたため。	①拡充・強化	伯耆国「大山開山1300年祭」の中核期間の取組を経て、事業の自立化、高収益化、集客力向上を図るとともに、同祭をきっかけに生まれた広域観光連携体制をより深化させていく。
		指標②	外国人宿泊者数 ◇2015年:103,430人	34,908	人増加	91,300	人増加	チャーター便、大型クルーズ船の誘致、海外でのPR活動等でインバウンド誘致、受入を加速化させたため。		

⑧地域課題を解決する起業・創業チャレンジプロジェクト

事業概要	地域資源や遊休資産を活用した中山間地域のコミュニティビジネスの創出や若者・女性など多様な主体による起業創業の支援、特色ある田舎文化体験の提供など観光誘客を促進することにより地域の活性化を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業 (3) エコスタイル	初回採択年	2017年

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2017年度	14,239,677	指標① 県域で新規性・成長性の高い創業件数 ◇2014年度:7件	10	件	5	件	県内波及効果の高い起業家の掘り起し・育成の取り組みが必ずしも十分ではなかったため。	①拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> 県内での起業家を発掘し、プロによるプランの磨き上げで起業を支援する「とっとりスタートアップキャンプ」(H29～)に高校生部門を設け、次世代を担う人材育成を進めるとともに、先輩女性起業家・支援団体の起業支援活動を促進するなど、本県ならではの起業エコシステムの構築を目指す。 外国人宿泊客数の増加を見据え、地域観光の魅力の掘り起しやSNSを活用した情報発信(データ分析に基づいた効果的な広告展開)、観光案内機能の充実・強化等を図る。
		指標② 創業による正規雇用者数 ◇2016年:305人	355	人	493	人	県・市町村及び支援機関による各種創業支援策により全体の創業数自体は増加傾向にあり、目標を上回る雇用者数となった。		
		指標③ 外国人宿泊者数 ◇2015年:95,960人※	23,272	人増加	40,210※	人増加	好調な国際定期航空便に加え、務安(韓国)・台北とのチャーター、エアソウルの臨時季節便、ベトナム・ハノイとの相互チャーター等を実施したため。		
2018年度	4,766,288	指標① 県域で新規性・成長性の高い創業件数 ◇2014年度:7件	20	件	18	件	県内波及効果の高い起業家の掘り起し・育成の取組により前年比増となったが、創業に向けて伴走支援を行っているところであり、単年度での実績に結びつかなかったため。	①拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> 2017年度の起業予備軍に対しては「さらなる伴走支援」を実施するとともに、起業支援関係機関との連携を強めるべく県版の起業エコシステム構築を目指す。 外国人宿泊客数の増加に向けては、地域観光の魅力の掘り起しやSNSを活用した情報発信(データ分析に基づいた効果的な広告展開)、観光案内機能の充実・強化等を図る。
		指標② 創業による正規雇用者数 ◇2016年:305人	765	人	932	人	県・市町村及び支援機関による各種創業支援策により引き続き創業数が好調であったため。		
		指標③ 外国人宿泊者数 ◇2015年:95,960人※	32,824	人増加	94,410※	人増加	好調な国際定期航空便に加え、務安(韓国)・台北とのチャーター、エアソウルの臨時季節便、ベトナム・ハノイとの相互チャーター等を実施したため。		

※実施計画書当初申請時の速報値であり、正しくは2015年:103,430人であるが、すでに採択を受けているため、速報値を基準に増加数を計算。

⑨北東アジア経済・観光交流拠点化推進プロジェクト

事業概要	日韓露を結ぶ環日本海定期フェリーの優位性を活かし、官民連携によるセミナーや商談会等、ビジネスマッチングを展開するとともに、訪日観光客の誘客を図る。また国内RORO船航路の開設等による「境港」のハブ化を推進する。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (2) 働く場	初回採択年	2017年

年度	交付金額 単位:円	指標		目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)		
				指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容	
2017 年度	17,991,437	指標①	境港取扱貨物量(国際コンテナ取扱量) ◇2016年:24,000TEU	4,000	TEU 増加	2,497※	TEU 増加	コンテナ取扱貨物の主流である韓国向け取扱貨物が不調であったため。	①拡充・強化	県内企業及び外務専門家から成るワーキンググループ(自動車、医療機器、食品等)における検討・情報提供、セミナーの実施等により、県内企業の海外展開を支援する。	
		指標②	海外展開企業数 ◇2015年度:64件	6	件 増加	8	件 増加				貿易支援機関における相談体制の充実、県内企業の海外展示会出席・商談会参加に対する支援を実施したことにより、新規に海外展開に関心をもつ企業が増加したため。
		指標③	外国人宿泊者数 ◇2015年:95,960人※	23,272	人 増加	40,210※	人 増加				好調な国際定期航空便に加え、務安(韓国)・台北とのチャーター、エアソウルの臨時季節便、ベトナム・ハノイとの相互チャーター等を実施したため。
2018 年度	25,517,160	指標①	境港取扱貨物量(国際コンテナ取扱量) ◇2016年:24,000TEU	4,000	TEU 増加	1,807※	TEU 増加	コンテナ取扱貨物の主流である韓国向け取扱貨物が不調であったため。	①拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> 国際変動の状況も見ながら、引き続き貿易支援機関による企業に対する伴走型支援、見本市、商談会及びミッション派遣等を通じて、ビジネスマッチングを進めていく。 外国人宿泊客数の増加に向けては、地域観光の魅力の掘り起しやSNSを活用した情報発信(データ分析に基づいた効果的な広告展開)、観光案内機能の充実・強化等を図る。 	
		指標②	海外展開企業数 ◇2015年度:64件	12	件 増加	12	件 増加				貿易支援機関によるサポート、展示会、商談会及びミッション派遣等により企業間のマッチング支援を行ったため。
		指標③	外国人宿泊者数 ◇2015年:95,960人※	32,824	人 増加	94,410※	人 増加				国際定期航空便の外国人利用者が増加したことによるもの

※実施計画書当初申請時の速報値であり、正しくは指標①2016年:24,924TEU、指標③2015年:103,430人であるが、すでに採択を受けているため、速報値を基準に増加数を計算。

⑩プロフェッショナル人材戦略拠点事業

事業概要	プロフェッショナル人材戦略拠点を設置し、事業革新や新商品開発等、県内企業の経営戦略に必要なプロフェッショナル人材の獲得を支援する。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (1) 移住・定住	初回採択年	2017年

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2017 年度	29,329,872	指標① プロフェッショナル人材マッチング 成立件数 ◇2016年度:10件	10	件 増加	11	件 増加	企業側のニーズを的確に判断しながら最適な人材のマッチングを図ることができたため。	①拡充・強化	県立鳥取ハローワークの開設にあわせて、プロフェッショナル人材戦略拠点を移転し、連携体制の強化を図る。
		指標② 県内企業相談件数 ◇2016年度:111件	100	件 増加	72	件 増加			
2018 年度	8,147,201	指標① プロフェッショナル人材マッチング 成立件数 ◇2016年度:10件	20	件 増加	21	件 増加	企業側のニーズを的確に判断しながら最適な人材のマッチングを図ることができたため。	①拡充・強化	令和元年度から、県立ハローワークの無料職業紹介機能を活用する等、プロ拠点と県立HWの一体的な取組を進めていく。
		指標② 県内企業相談件数 ◇2016年度:111件	200	件 増加	129	件 増加			

⑪若者を呼び込み、若者が活躍する地域づくり推進事業

事業概要	若者による情報発信や長期有償型インターンシップの普及などにより若者のIJUターンを加速させるとともに、都市部から地方への若者の流れをつくる。また、「小さな拠点」の核となる次世代リーダーを育成し、若者の県政参画や地域・経済活動を促進し、若者のアイデアとパワーを生かした活力溢れる地域づくりを目指す。			
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (1) 移住・定住 (3) まちづくり	初回採択年	2018年	

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った(または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)		
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容	
2018年度	7,818,721	指標①	県外大学進学者の県内就職率 (県出身者の多い大学) ◇2016年:32.8%	2.4	% 増加	-2.5	% 増加	全国的な有効求人倍率上昇に伴い、学生の大手志向が強まってきたため。 鳥取看護大学の県内就職率が非常に高く、全体の県内就職率の増加を牽引したため。 全国的な有効求人倍率上昇に伴い、学生の大手志向が強まってきたため。県内大学は、県内出身者の割合が低く、特に県外出身者へ県内企業の情報や魅力が十分に伝わっていないため。	②単純継続	<ul style="list-style-type: none"> ・長期有償型インターンシップを定着させるため、登録企業の増加やプログラムの充実、大学内での相談会開催等、学生への周知を図る。 ・「学生等県内就職強化本部」を設置し、若者の県内定着、就職について情報共有を図るとともに、相互連携、協力等により実効性のある取組を推進する。 ・学生への情報発信を強化するため、アプリを構築する。 ・県内企業の採用活動への支援や企業の魅力・採用力の向上を図る。 ・とっとりワーホリの対象を県内学生まで拡充するとともに、大学生等が県内で活躍する社会人となつながら、本県の暮らしと仕事の魅力を知る活動を支援する制度を新たに設け、県内定着を推進する。
		指標②	県内大学生の県内就職率 ◇2016年:30%	4.7	% 増加	5.1	% 増加			
		指標③	10～20歳代の転出超過数 ◇2016年:1,298人	△130	人 増加	156	人 増加			

⑫Catch the STER 世界に誇れる星取県プロジェクト

事業概要	美しい星空が見える環境を保全するため、「星取県」を国内外に広くPRするとともに、「星取県」ならではの星空観光メニューなどを充実させ、県内消費の拡大、地域を支える産業の活性化と雇用の創出につなげる。また、次代を担う子どもたちへの美しい星空を通じた環境教育に積極的に取り組み、ふるさとに誇りをもたせ、住み続けたい、帰りたいふるさとを目指す。			
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (1) 観光・交流	初回採択年	2018年	

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った(または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2018年度	17,734,380	指標①	さじアストロパーク総利用者数(年間) ◇2017年:23,706人	1,000	人 増加	3,947	人 増加	①拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天曇天対策として移動プラネタリウムを県で整備し、操作できる団体等に貸し出す。天候や時間帯に関わらず教育や観光などさまざまな場面での活用に繋げていく。 ・観望会等の補助ができる人材を育成するための入門的な研修と併せ、星空の魅力の伝え方を習得する専門的な研修を引き続き実施していく。 ・星空観光を牽引する層をメインターゲットとした情報発信を実施(SNSキャンペーンの実施、都内にある女性に人気のプラネタリウムでのCM等) ・星空を活用したおもてなしメニュー(天体望遠鏡等の導入・活用)に取組む宿泊事業者を新たに支援。 ・外国人宿泊客数の増加に向けては、地域観光の魅力の掘り起しやSNSを活用した情報発信(データ分析に基づいた効果的な広告展開)、観光案内機能の充実・強化等を図る。
		指標②	外国人宿泊客数(年間) ◇2016年:100,000人	16,412	人 増加	94,730※	人 増加		
		指標③	観光入込客数 ◇2016年:10,127千人	400	千人 増加	△481	千人 増加		

※実施計画書当初申請時の暫定値であり、正しくは2015年:103,430人であるが、すでに採択を受けているため、暫定値を基準に増加数を計算。

⑬鳥取県「働き方改革」推進事業

事業概要	働き方改革支援センター設置によるワンストップ相談体制整備やアウトリーチ型支援、企業における働き方の推進、働き方改革を実践する人材育成等を、業界団体や商工団体と連携して展開することで、企業の労働面に加えて生産性や利益率の向上、人手不足解消などの経営面を改善し、力強い県内産業の発展を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (2) 働く場	初回採択年	2018年

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2018年度	4,589,372	指標①	県内中小企業の有給取得率 ◇2016年:44.55%	2	% 増加	1.09	% 増加	②単純継続	引き続き、関係機関と連携しながら、専門家派遣、セミナー、補助・融資等により、働き方改革の取組を促進していく。
		指標②	男女共同参画推進企業認定数 ◇2016年:641社	100	社 増加	113	社 増加		
		指標③	大学生の県内企業インターンシップ参加者数 ◇2016年:248人	76	人 増加	178	人 増加		

⑭鳥取県におけるADAS・EV関連産業の集積(「グローバルバリューチェーンの構築」と「人材供給体制の構築」)

事業概要	県内ADAS・EV関連企業(地域経済牽引企業)と中国第一汽車とのマッチング及び部品供給を支援することで、「ADAS・EV産業でのグローバルバリューチェーンの構築」を目指す。また、高度人材を育成する新たな教育体系「MONOZUKURIエキスパート」の構築により、本県がADAS・EV分野を始めとした有能人材輩出先進県としての地位を確立することを目指す。面に加えて生産性や利益率の向上、人手不足解消などの経営面を改善し、力強い県内産業の発展を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (2) 働く場	初回採択年	2018年

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2018年度	10,960,524	指標①	地域経済牽引事業者の中国向けADAS・EVデバイス製品の売り上げ増加 ◇2016年度:0千円	1,000	千円 増加	1,000	千円 増加	①拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> 8月に吉林省で開催される第12回北東アジア博覧会への県内ADAS・EV関連企業の車載デバイスの出展を通じ、第一汽車との更なるビジネス交流を推し進めていく。 「MONOZUKURIエキスパート」の構築に向けて、企業現場でのAI活用実証実験モデル事業に取り組む。
		指標②	ザルビノ延伸航路を活用した中国第一汽車への年間輸送貨物量 ◇2016年度:0TEU	1	TEU 増加	1	TEU 増加		
		指標③	正規雇用創出数 ◇2017年度:1,696人	1,495	人	2,388	人		

⑮鳥取県養殖技術創出事業

事業概要	豊かな地域特性を有するが、地理的条件等の問題により養殖業への参入が進んでいない本県の状況に合った養殖技術の確立等に取り組む事業者を支援するとともに、新たに養殖業へ参入しようとする事業者等が養殖技術を習得することを支援する。また、県が主体になって漁港内での養殖の実現可能性調査を実施し事業化をめざす。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	初回採択年	2018年

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2018年度	29,636,812	指標① 養殖業への参入企業数(経営体数) ◇2017年度:3社	3	社	3	社	目標達成	②単純継続	引き続き、県内企業等の養殖業への参入を推進するため、新技術の普及及び新規参入者への技術研修への協力体制の整備等の支援を行う。
		指標② 養殖魚の生産量(ギンザケ、マサバ、ニジマス、ウマズラハギ、マアジ) ◇2017年度:706t	1,000	t 増加	1,003	t 増加	ギンザケの生産量が増加し、予定量を達成した。		
		指標③ 養殖魚の出荷額(ギンザケ、マサバ、ニジマス、ウマズラハギ、マアジ) ◇2017年:338,880千円	480,000	千円 増加	492,396	千円 増加	ギンザケの生産量が増加しほぼ予定量となった。		

⑯高度外国人材等活用促進事業

事業概要	高度外国人材を鳥取県内企業へ供給する仕組みを構築するために学校法人が開校する日本語学校に対して自立的・安定的な運営のための支援を行う。また、県内企業の高度外国人材の活用促進のため、企業向け研修会や高度外国人材等を活用している企業への見学会の開催、県内教育機関の留学生等を対象としたマッチング事業の実施、外国人雇用サポートデスクの設置を行う。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	2.人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (2)人財とっとり	初回採択年	2018年

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2018年度	472,484	指標① 県内企業の高度外国人の採用者数 ◇2017年度:0人	10	人	0	人	平成31年4月に開校し、修業年限が2年のため。	②単純継続	引き続き、外国人労働者への適正な受入環境整備など、企業への啓発活動を、効果的に行う。
		指標② 県内企業への就職を前提とした鳥取城北日本語学校の入学者数 ◇2017年度:0人	30	人	0	人	平成31年4月に開校したため。		
		指標③ 研修会、見学会等への参加企業数 ◇2017年度:0社	10	社	89	社	商工団体を通じ、効果的に広報活動を行ったことに加え、外国人雇用への関心が、企業の間で高まっているため。		
		指標④ 外国人雇用サポートデスクの相談対応件数 ◇2017年度:0社	3	社	35	社	商工団体を通じ、効果的に広報活動を行ったことに加え、外国人雇用への関心が、企業の間で高まっているため。		

○地方創生拠点整備交付金対象事業の取組状況（各交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

I 鳥取砂丘コナン空港交流創出整備事業

事業概要	鳥取空港ターミナルビルと隣接する国際会館を一体化し、増設部に飲食・物販スペースを整備するとともに、情報発信機能を強化。空港施設の集客力向上、テナント等売上げ額の増加を図るとともに、空港周辺地域の観光・物産施設との連携等による地域活性化を図る		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (1) 観光・交流	採択年	2016年度補正

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)			
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容		
2017年度	420,697,820	指標①	施設によるテナント料と各店舗等の売上げの合計額 ◇2015年度:0千円	0	千円	0	千円	整備初年度は、効果がみこまれないため。	①拡充・発展	今年度中に、民間による管理運営(コンセッション方式)開始するとともに、民間への運営権移譲後においても、航空政策、観光・イベント、二次交通政策などに関して運営権者を継続的に支援し、空港の賑わい創出や利用者数拡大に取り組んでいく。	
		指標②	鳥取砂丘コナン空港利用者数 ◇2015年度:424,794人	15,206	人増加	8,967	人増加				大型イベントの効果等により航空利用者数が増加したため。
		指標③	ツインポート(鳥取港(マリンピア賀露))における消費額 ◇2015年度:1,787,000千円	0	千円増加	0	千円増加				整備初年度は、効果がみこまれないため。

II 畜産試験場施設整備事業

事業概要	畜産試験場に乳牛舎を新築し、家畜伝染病から守るためのエリア分離を図るとともに、生乳の生産管理が可能なデータ解析システムを備えた搾乳システムの導入や飼養管理に必要な施設を整備する。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	採択年	2016年度補正

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)		
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容	
2017年度	154,778,458	指標①	畜産試験場の生産物販売収入 ◇2015年度:40,296千円	0	千円増加	0	千円増加	整備初年度は、効果がみこまれないため。	①拡充・発展	引き続き高能力種雄牛の造成と精液販売への取り組みを強化。試験場の研究成果を活用し、県産牛乳のブランド力、和子牛の生産技術を向上させていく。
		指標②	乳業メーカーの生乳・乳製品販売額 ◇2015年度:13,399百万円	0	百万円増加	0	百万円増加			
		指標③	鳥取県の和子牛販売額 ◇2015年度:1,124百万円	0	百万円増加	0	百万円増加			

Ⅲ 公共育成牧場機能強化整備事業

事業概要	畜産振興の拠点施設である鳥取放牧場に牛舎等を整備することにより、公共育成牧場の受け入れ体制の拡充を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	採択年	2016年度補正

年度	交付金額 単位:円	指標		目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
				指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2017年度	172,099,980	指標①	公共育成牧場の預託料等収入額 ◇2015年度:242,259千円	0	千円増加	0	千円増加	整備初年度は、効果がみこまれないため。	①拡充・発展	県内酪農家の規模拡大が進んでおり、受入体制を強化した放牧場での預託が増加する見通し。乳牛への和牛受精卵移植、和子牛生産頭数の増加に取り組み、本県の畜産振興をさらに推し進めていく。
		指標②	鳥取県の和子牛の増産効果 ◇2015年度:1,124百万円	0	百万円増加	0	百万円増加			
		指標③	鳥取県の生乳販売額 ◇2015年度:6,126百万円	0	百万円増加	0	百万円増加			

Ⅳ 鳥取県栽培漁業センター施設増強事業

事業概要	栽培漁業センターに生産施設等を整備することにより、マサバやキジハタ等の種苗量産体制や種苗生産技術の開発(改良)の強化を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	採択年	2016年度補正

年度	交付金額 単位:円	指標		目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
				指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2017年度	189,484,500	指標①	マサバ養殖生産金額 ◇2015年度:6,750千円	24,750	千円増加	1,950	千円増加	種苗出荷は想定どおりであったが、養殖場での病気の発生や例年に無い冬季の低水温等の問題で斃死が多く、また成長も悪かったため。	③取組内容の改善	H29年度の取組を元に養殖手法の改善を指導するとともに、巡回指導等を行い、養殖場での飼育状況の把握と魚病対策等の強化を図る。
		指標②	マサバ養殖輸出量 ◇2015年度:0kg	0	kg	0	kg			
		指標③	キジハタ種苗の有償販売尾数 ◇2015年度:0千尾	52	千尾	52	千尾	—		

Vオープンラボ機能強化(木材・建築業界等)による実用技術の協働開発拠点化

事業概要	木質新材料(CLT、LVL)等の性能向上・品質安定化や新製品開発支援に必要な施設を整備することにより、品質・性能の確かな製品の市場への安定供給による県産材の出荷量・販売額の拡大を目指す。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業 (3) エコスタイル	採択年	2016年度補正

年度	交付金額 単位:円	指標		目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った(または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
				指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2017年度	76,793,580	指標①	県内で生産されるCLT(直交集成板)・LVL(単板積層材)の販売額 ◇2015年度:1,246,000千円	13,000	千円増加	126,000	千円増加	LVLの販売が堅調に推移したため。	①拡充・発展	関係企業との共同研究や県の研究事業、有識者との技術交流を積極的に展開し、技術支援を進めていく。
		指標②	林業新規就業者数 ◇2015年度:97人	233	人	168	人	業界の景気動向等により、林業における新規就業者の確保ができなかったため。		

VIスポーツクライミングの聖地化を通じた元気なまちづくり

事業概要	県立倉吉体育文化会館に、スポーツクライミング3種目(ボルダリング、リード、スピード)の競技施設が1箇所を整った施設を整備することにより国際大会やスポーツ合宿等を誘致するほか、国内トップクラスの指導者の下、世界で活躍できるトップアスリートの育成、体力・健康づくりへの支援を通じた現役世代の健康増進、地域コミュニティの形成を図る。		
鳥取県元気づくり総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (1) 観光・交流	採択年	2016年度補正

年度	交付金額 単位:円	指標		目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った(または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
				指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2017年度	28,553,355	指標①	大会・合宿等の誘致による経済波及効果 ◇2015年度:10,600千円	0	千円	0	千円	整備初年度は、効果がみこまれないため。	①拡充・発展	県内はもとより、関東や九州等、県外各地からも利用があり、オープン後1か月で延べ500人が利用。H30.5月にはユース日本選手権、H30.11月にはアジア選手権が開催されることとなっており、クライミングの聖地化を通じた元気なまちづくりを推進していく。
		指標②	施設に係る使用料収入 ◇2015年度:0千円	0	千円	0	千円	整備初年度は、効果がみこまれないため。		
		指標③	クライミング体験教室参加者数 ◇2015年度:150人	30	人増加	69	人増加	H30.4月の一般利用開始に先立ち、プレオープンクライミング教室を開催したことによるもの。		

Ⅶ鳥取和牛改良試験研究施設整備事業

事業概要	和牛改良において産肉能力の予測や正確度が高い交配シミュレーションなどが可能なゲノム育種価評価を強力に推進するため、試験研究機器を導入整備するとともに、その研究を重点的に推進するための研究棟を増築する。		
鳥取県元気づくり 総合戦略上の記載部分	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業	採択年	2017年度補正

年度	交付金額 単位:円	指標	目標値(KPI)		実績値(KPI)		実績値が目標値を下回った (または上回った)理由	実績値を踏まえた今後の取組 (次年度に向けて講じた改善など)	
			指標値	単位	指標値	単位		今後の取組	左の理由及び具体的内容
2018 年度	123,456,052 (年度内完了額) ※	指標① 畜産試験場の手数料(飼料分析、ゲノム育種価評価)、精液等販売収入(年間) ◇2016年度:13,583千円	0	千円 増加	0	千円 増加	整備初年度は、効果がみこまれないため。	②単純継続	畜産試験場の手数料に関しては令和元年度中にゲノム育種価評価の受託が本格的に開始するため、今後、手数料の増加が見込まれる。また和牛、乳牛については畜舎整備の増頭効果が今後、好影響を与えると見込まれる。
		指標② 鳥取県和子牛増産効果(年間) ◇2016年度:1,662百万円	0	百万円 増加	0	百万円 増加			
		指標③ 乳業メーカーの生乳・乳製品販売額 ◇2016年度:13,451百万円	0	百万円 増加	0	百万円 増加			

※2019年度へ繰越あり。2019実績額:101,629,080円